

安全データシート

作成日：2003年6月27日

改訂日：2023年2月16日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名) PORON SS-24P (色：黒)
 会社名 株式会社ロジヤースイノアック
 住所 愛知県知多郡武豊町字梨子ノ木9-117
 電話番号 0569-74-1811
 FAX番号 0569-74-1812

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類 分類基準に該当しない
 GHSラベル要素
 絵表示又はシンボル 表示なし
 注意喚起語 表示なし
 危険有害性情報及び注意書き 認められない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物(成形品)

| 構成部位 | 化学名又は一般名 | 含有率(wt%) | CAS RN | 官報公示整理番号 | |
|-------|---------------|----------|------------|----------|-----|
| | | | | 化審法 | 安衛法 |
| フォーム部 | ポリウレタン | 76 | - | 7-867 | - |
| | カーボンブラック | 0.52 | 1333-86-4 | 5-3328 | - |
| フィルム部 | ポリエチレンテレフタレート | 99< | 25038-59-9 | 7-1022 | - |

4. 応急処置

吸入した場合 高温加熱による溶融樹脂から発生するガスを多量に吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移る。咳や呼吸困難などの症状が出た場合には直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 常温では無害。溶融物が皮膚に付着した場合は、多量の水をかけて十分に冷却し、直ちに医師の手当てを受ける。

眼に入った場合 清浄な水で洗浄する。異物感が目に残るようであれば、速やかに眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 吐き出させる。異物感を感じるようであれば、医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

| | |
|--------------|--|
| 適切な消火剤 | 多量の水、粉末・炭酸ガス・泡消火剤等の一般消火剤。 |
| 使ってはならない消火剤 | 情報なし |
| 火災時の特有の危険有害性 | 火災中に熱分解し、刺激性又は毒性のガスを発生する可能性がある。 |
| 特有の消火方法 | 一般的な消火剤にて風上から消火するのが望ましい。 |
| 保護具及び予防措置 | 消火活動を行う場合には、消火用防毒マスクや防火服等状況に応じた保護具を着用する。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|-----------------|--------------------------------------|
| 人体に対する注意事項 | 特になし |
| 保護具及び緊急時措置 | 特になし |
| 環境に対する注意事項 | 鳥類、魚類が摂取する恐れがあるので、河川及び海洋水域などに漏出させない。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | すくい取り、または掃き集めて適切な容器に回収する。 |

7. 取扱い及び保管上の注意

| | |
|-----------|--|
| 取扱い | |
| 技術的対策 | 適切な保護具を着用する。 |
| 安全取扱注意事項 | 可燃材であるので、取扱い時には火気の接近を避けるとともに、過度の衝撃、積み重ねは避けること。 |
| 接触回避 | 特になし |
| 保管 | |
| 安全な保管条件 | 直射日光、高温多湿、水濡れを避けて屋内に保管する。 |
| 安全な容器包装材料 | 紙袋、段ボール箱等 |

8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|------------|--|
| 設備対策 | 加熱溶融等ガスが発生する場合は局所排気を設置する。全ての作業において、換気を行うことが望ましい。 |
| 保護具 | |
| 呼吸用保護具 | 必要に応じて、保護マスク着用が望ましい。 |
| 手の保護具 | 必要に応じて、保護手袋着用が望ましい。 |
| 眼、顔面の保護具 | 必要に応じて、保護眼鏡着用が望ましい。 |
| 皮膚及び身体の保護具 | 必要に応じて、安全帽、安全靴及び保護服着用が望ましい。 |

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|-------------------|------------|
| 物理状態 | 発泡体 |
| 色 | 黒 |
| 臭い | 無視できる程度の臭い |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲 | 該当しない |
| 可燃性 | 可燃性有り |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 | データなし |
| 引火点 | データなし |
| 自然発火点 | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| pH | 該当しない |
| 動粘性率 | データなし |

| | |
|--------|--------------|
| 蒸気圧 | データなし |
| 比重 | 0.24 (フォーム部) |
| 相対ガス密度 | データなし |
| 粒子特性 | データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|--------------------|
| 反応性 | 特になし |
| 化学的安定性 | 常温、常圧での取扱いにおいては安定。 |
| 危険有害反応可能性 | データなし |
| 避けるべき条件 | データなし |
| 混触危険物質 | 特になし |
| 危険有害な分解生成物 | データなし |

11. 有害性情報

| | |
|------------------|-------|
| 急性毒性 | データなし |
| 皮膚腐食性/刺激性 | データなし |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | データなし |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | データなし |
| 生殖細胞変異原性 | データなし |
| 発がん性 | データなし |
| 生殖毒性 | データなし |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | データなし |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | データなし |
| 誤えん有害性 | データなし |

12. 環境影響情報

| | |
|-----------|-------|
| 生態毒性 | データなし |
| 残留性・分解性 | データなし |
| 生態蓄積性 | データなし |
| 土壤中の移動性 | データなし |
| オゾン層への有害性 | データなし |

13. 廃棄上の注意

| | |
|----------|---|
| 残余廃棄物 | 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(国、県、地方自治体の関係法令)」に則して、適切に処理する。 |
| 汚染容器及び包装 | 残余廃棄物と同様に処理する。 |

14. 輸送上の注意

| | |
|---------------------|--|
| 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・包装が破れないように、衝撃・落下等の乱暴な取扱いを避ける。 ・直射日光、高温多湿、水漏れ、過度の段積みを避けて荷崩れ防止を確実に行った上で輸送する。 ・変形防止のため、上に重量物を載せ運搬、保管しない。 |
| 国内規制がある場合の規制情報 | 該当なし |

15. 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

| | |
|----------------------|-----|
| 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) | 非該当 |
| 労働安全衛生法 | 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | 非該当 |

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

| | |
|------------------|------------------|
| 外国為替及び外国貿易管理法 | 輸出貿易管理令 別表第1第16項 |
| 消防法 | 指定可燃物(合成樹脂類) |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | 廃プラスチック類に該当 |

16. その他の情報

本製品は「成形品」に該当するため、本来SDSの作成は必要とされておりません。しかしながら、当社の製品を安全にご使用頂くために、当社の持つ知見と使用材料メーカーから提供を受けたSDSを基に、SDSの書式を定めた「JIS Z 7253 : 2019」に準拠した形で作成をいたしました。

- ・ 記載内容については、情報の完全さ、正確さを保障するものではありません。
- ・ 記載内容の値は代表値であり、保証値ではありません。
- ・ 記載内容は通常の使用状態におけるものであり、特殊な条件下での安全性、すべての生態影響の網羅を保障するものではありません。
- ・ 本製品を使用する際には、適用法令に従うと共に、本データシートを参考にして、自社の使用に則した取扱い上の注意を検討の上、安全に使用して頂きたくお願い申し上げます。